

ほっかいどう
チャレンジテスト
前年度サポート問題

小学校第6学年

国語

次の一と二の問いに答えましょう。

一 次の(1)から(3)までの文の——線部の漢字の読みを、ひらがなでていねいに書きましょう。

(1) 何事も最初が大切だ。

(2) 新しい作戦を試みる。

(3) 文章の構成を工夫する。

二 次の(1)から(3)までの文の——線部のカタカナを、漢字でていねいに書きましょう。

(1) 試合をサイカイする。

(2) 予算がカギられている。

(3) おこづかいをチョコキンする。

2

次の一と二の問いに答えましょう。

一 次の(1)から(3)までの文の——線部に当てはまる漢字を選んで、その記号を書きましよう。

(1) 旅のよういをする。

- | | |
|----|----|
| イ | ア |
| 容易 | 用意 |

(2) さいしんの注意をはらう。

- | | |
|----|----|
| イ | ア |
| 細心 | 最新 |

(3) せいか市場に行く。

- | | |
|----|----|
| イ | ア |
| 青果 | 成果 |

二 長い文を読むときには、次の例のように、主語と述語との関係に注意すると意味が分かりやすくなります。
 []の中の文で、主語を示す~~~~線部1から3の述語にあたるものを、——線部アからエまでの中からそれぞれ一つ選んで、その記号を書きましよう。

(例) みんなが植えた木は、どんどん育った。

(主語) (述語)

1 雨が、ざあざあとふって、湖のような水たまりが庭一面にできたので、ぼくには、草木がうかんでいるように見えた。

※解答は、解答用紙に書きましよう。

1 雨が ↓

2 水たまりが ↓

3 ぼくには ↓

次の【物語の前半】、【物語の後半】と、この物語を読んだ山田さんと竹内さんが書いた【山田さんの感想メモ】、【竹内さんの感想メモ】を読み、あとの問いに答えましょう。

【物語の前半】

（ここまでのあらすじ）
鳥やけものをとるために山に入った二人のわかいしんしは、案内とはぐれて道にまよってしまいます。

ところが、どうもこまったことは、どっちへ行けばもどれるのか、いっとう見当がつかなくなっていました。風がどうとふいてきて、草はザワザワ、木の葉はカサカサ、木はゴトンゴトンと鳴りました。さっきから横っぱらがいたくてたまらないんだ。」

「ぼくもそうだ。もうあんまり歩きたくないな。」

「歩きたくないよ。ああこまったなあ、何か食べたいなあ。」

「食べたいもんだなあ。」

二人のしんしは、ザワザワ鳴るすすきの中で、こんなことを言いました。

「そのとき、ふと後ろを見ますと、りっぱな一けん（けん）の西洋造りのうちがありました。そして、げんかんには、

RESTAURANT
西洋料理店
WILDCAT HOUSE
山猫軒

という札が出ていました。「君、ちょうどいい。ここはこれでなかなか開けてるんだ。入ろうじゃないか。」

【物語の後半】

（ここまでのあらすじ）
二人はこの料理店はおとずれた客を料理にして食べてしまうお店だということに気が付きました。

二人はあんまり心をいためたために、顔がまるでくしゃくしゃの紙くずのようになり、おたがいにその顔を見合わせ、ぶるぶるふるえ、声もなく泣きました。

中では、フツフツと笑って、またさけん（けん）でいます。

「いらっしゃい、いらっしゃい。そんなに泣いては、せっかくのクリームが流れるじゃありませんか。へい、ただいまじき持ってまいります。さあ、早くいらっしゃい。」

「早くいらっしゃい。親方がもうナフキンをかけて、ナイフを持って、舌なめずりして、お客様がたを待っていられます。」

二人は、泣いて泣いて泣いて泣いて泣きました。

そのとき、後ろからいきなり、

「ワン、ワン、グワア。」

という声が出て、あの白くまのような犬がニひき、戸をつき破って部屋の中にとびこんできました。かぎあなの目玉はたちまちなくなり、犬どもはウーとうなってしばらく部屋の中をぐるぐる回っていましたが、また一声、

「ワン。」

と高くほえて、いきなり次の戸にとびつきました。戸はガタリと開き、犬どもはすいこまれるようにとんでいききました。その戸の向こうの真っ暗やみの中で、

「ニャアオ、クワア、ゴロゴロ。」

という声が出て、それからガサガサ鳴りました。

部屋はけむりのように消え、二人は寒さにぶるぶるふるえて、草の中に立っていました。

見ると、上着やくつやさいふやネクタイピンは、あっちの枝にぶら下がったり、こっちの根元に散らばったりしています。風がどうとふいてきて、草はザワザワ、木の葉はカサカサ、木はゴトンゴトンと鳴りました。

【山田さんの感想メモ】

「注文の多い料理店」のおもしろさのひみつ

へおもしろさのひみつへ

同じ言葉や文のくり返し

へ表げんの例へ

ア

へこの表げんについての感想へ

この文は、物語の前半と後半に二回出てきます。この文章が、現実の世界と不思議な世界の境界をあらわしているのではないかと思えます。

【竹内さんの感想メモ】

「注文の多い料理店」のおもしろさのひみつ

へおもしろさのひみつへ

イ

へ表げんの例へ

二人はあんまり心をいためたために、顔がまるでくしゃくしゃの紙くずのようになり、おたがいにその顔を見合わせ、ぶるぶるふるえ、声もなく泣きました。

へこの表げんについての感想へ

「くしゃくしゃの紙くずのように」という表げんから、二人がとてもこわいと感じている様子が伝わってきます。

一 【山田さんの感想メモ】の②に当てはまる〈表げんの例〉を文章中から一文で書きぬきましょう。

二 【竹内さんの感想メモ】の④には、竹内さんが「おもしろさのひみつ」として取り上げた事がらが入ります。アからウまでの中から一つ選んで、その記号を書きましよう。

- ア 色彩しきさいをつかった表げん
- イ 同じ言葉や文のくり返し
- ウ たとえをつかった表げん

三 【物語の後半】にある——線部を〈表げんの例〉として、【感想メモ】をまとめます。次の〈この表げん〉についての感想の【ア】に当てはまる言葉を、あとの【条件】に合わせて書きましよう。

【感想メモ】

〈表げんの例〉

二人は、泣いて泣いて泣いて泣いて泣きました。

〈この表げんについての感想〉

「泣く」という言葉が五回もくり返されていることから、二人が「ア」と
感じている様子が伝わってきます。

【条件】

- 「二人がくと感じている様子」という言い方につながるように書くこと。
- 十字以内で書くこと。

国語 解答用紙

一
(1)

(2)
(みる)

(3)

二
(1)

(2)
(られて)

(3)

一		
(3)	(2)	(1)

二		
1 雨が	2 水たまりが	3 ほくには
↓	↓	↓

3
一

二

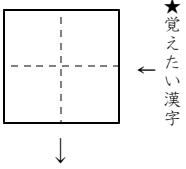
二人が

と感している様子

【チャレンジコーナー】

覚えたい漢字を練習しましょう。

読み方



ていねいに書いてみましょう。

※ 問題が全部終わったら取り組んでみましょう。